

環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント 事例:2021年度 調達方針説明会を開催

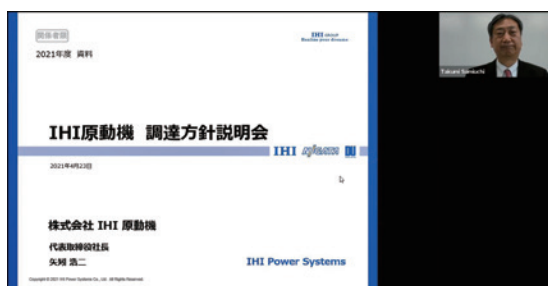
4月23日『2021年度調達方針説明会』を初のオンラインミーティングアプリを利用したWEB方式で開催いたしました。コロナ禍で大規模な集会在規制される中、新しい説明会の形として企画し296名のサプライヤーにご参加いただきました。実際に開催することで見えてきた課題もありますが、参加者からのアンケートでは95%が内容をよく理解できたとご回答いただき、80%が次回もWEB開催を希望する結果となり、今回の課題をフィードバックし来年度もWEB開催を目指します。

冒頭の矢矧社長、丸山経営企画部長の挨拶に続き、調達センター、生産センターと船用事業部から、本年度の調達方針としてVE原価低減活動、生産計画、品質改

善、最新市場動向を説明しました。

まず、改めて3社統合について、これらの組織統合の意図など取引先の懸念に答えるように丁寧に説明しています。そして、IPSのサプライチェーンをさらに改善すべく、原価低減・納期厳守・不適合削減の願いを具体的な事例やデータを多く取り入れて、お伝えしています。

すなわち、当社の生産状況・計画・改善活動などの情報を公開することで、取引先での生産効率化、ムリ・ムダの排除にお役立ていただくとともに、品質改善活動で後戻り作業を撲滅させることができ、サプライチェーン全体として無駄のない省資源で地球にやさしく環境に配慮した調達活動の推進を目指しています。



社長あいさつ



冒頭司会の様子